

# ボランティ

# 第 95 号



# 情報すいた

編集・発行

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター  
吹田市ボランティア連絡会  
〒564-0072 吹田市出口町19番2号  
市立総合福祉会館内  
電話 (06)6339-1210



◀新会長 中谷さん

瀬良会長の挨拶の後、第2さつきボランティア

ました。  
うち、出席26(内委任状5)、欠席1の出席の中、来賓の方々のご挨拶をいただき、始まり

ました。  
アサークルの佐々木さんが議長に選出され、議事の報告が次々と承認され無事終了。

4月11日(月)に総合福祉会館において、社会福祉協議会より立川会長、今年4月に就任されたばかりの横内次長、



## 吹田市ボランティア連絡会

### 平成23年度 総会開催

▶総会風景



4名、女性5名の力強いメンバーでスタート。手話サークル「風」と水曜会は残念ながら退会されましたが、新たに「歌体操介護予防市民塾」「エコおもちゃ作り市民塾」のグループが入会。現在27グループ、ボランティア総数971名。

総会終了後、各分会に分かれてボランティア連絡会の行事について活発に話し合いが成されました。

いろいろな分野のボランティア団体組織の連絡会。各会の会長さんとコミュニケーションをとりながら、連絡会として何ができるかを考えていきたいと思っています。



### 平成23年度 役員 正・副部長

- 会長 中谷 恵子 点訳グループ「あい」
- 副会長 西川 宏 (V情報紙担当) 移送サービスボランティアの会
- 塩谷 和久 花から
- 小川 忠夫 心ふれあいSA吹田
- 書記 矢上 敬子 吹田ボランティア
- 会計 加藤由美子 音訳グループ「とも」
- 会計監査 菱沼 昭子 いきまっせ

- 第1部会 部長 藤森 重治 エコおもちゃ作り市民塾

- 第2部会 部長 北嶋 玉枝 点訳の会「円」



# 頑張れ被災地の 災害ボランティアセンター

東日本大震災で被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、阪神淡路大震災があった平成7年はボランティア元年と呼ばれています。この震災以降、国内の災害では、復興のお手伝いと、被災地へ多くのボランティアが駆けつけるようになりました。

このボランティアに行きたいという方と、来て欲しいという方とのコーディネートをする為に、被災地の社協を中心として、NPOや諸団体が連携した「災害ボランティアセンター」が開所されます。

この吹田でも万が一、被災した場合は、吹田市社協に災害ボランティアセンターが設置



災害ボランティアセンターの受付には、たくさんのボランティアさんが

災害ボランティアセンターでは、以下の流れとなります。

## ① ボランティアニーズ受付

場所はどこで、どのようなお手伝いが希望か、また、ボランティアが何人必要かお聞きします。

## ② ボランティア登録

ボランティア保険に加入をしているか、体調や希望をお聞きします。

## ③ マッチング

①のニーズに行ってくれ方を、必要な人数になるようボランティアを集め、一人リーダーを決めます。

## ④ オリエンテーション

被災者の立場を尊重し、カメラの撮影を控える他、危険な依頼にはお断りするなど、活動前の最終確認をします。

## ⑤ 資材管理

一輪車、スコップ、デッキブラシ、バケツなど、①のニーズ票にしたがって必要な資材を借ります。ここにも貸し出しボランティアが活躍します。

## ⑥ 送り出し

活動場所までの送迎を行



明日の活動のため、中学生ボランティアさんが道具をきれいに洗います

います。迎えの時間の調整なども行います。運転ボランティアが必要で

## ⑦ お迎え

泥まみれになったボランティアさんを迎え、汚れた資材を洗浄します。

## ⑧ 報告

グループのリーダーは活動の内容やメンバーの状況、今後の引継ぎなどをスタッフに報告します。

力がある泥だしボランティアだけが必要ではなく、マッ

チングや送迎、資材管理、資材洗浄のボランティアも必要です。

災害時はもちろんのこと、日常のボランティア活動でも、ひとりひとりができることを考え、行動することが大切です。また、目的に向かって力を

合わせるチームワークも大きな成果をあげることになります。

東北の皆さんへ、復興祈願

吹田の地から心を込めて。

(吹田市社協 広田倫久)

# 吹田ボランティア

吹田市第1号のボランティアグループで、現在会員数は矢上敬子代表他19名。設立は昭和43年で、40年以上の歴史があります。

活動目的は、お年寄り・障がい者に、より快適に過ごしていただくことで、主にシーツ交換を高寿園・松風園に行っています。また図書館で、お母さんが受講されている間、託児をされています。最近では2ヶ所で習字教室をされ、年行事では福祉大バザーの昼食作り、秋の運動会のボランティアと、多種多様に渡り活躍されています。



テキパキと手際よく、シーツ交換

平成21年秋の叙勲に際し、緑綬褒章を受章されました。「吹田ボランティア」は、吹田市ボランティア連絡会グループの誇りでもあり、みんなの目標です。

(情報紙担当記者

西川 宏)



## 吹田市青少年活動研究会

こどもの日に開催された「こども野外カーニバル」は、天候にも恵まれ、たくさんの子どもたちや親が北千里公園に訪れてきました。我が会では、毎年企画させていただいており、子どもたちの素敵な笑顔を見るのが楽しみであり、喜びを感じております。

### クラフトコーナー



遊びのコーナー

今年のクラフトコーナーでは、鯉のぼり飾りとヘリトンボの二種類を作っていました。遊びのコーナーでは、留学生が竹馬でカニさん歩きをし、小さな子どもにも人気の蛇くぐりでは、袋から出てきて「蛇のお腹は暖かいなあ」と、楽しそうにしていました。

今年も行列ができたストラックアウトでは、3人がパーフェクトを出して、くり抜いたボードを背景に「ハイポーズ！」と記念撮影。

緑あふれる公園で、会員的心も五月晴れの一日でした。

(代表 河合直二郎)

## 傾聴ボランティア養成講座 開催中

「傾聴」という言葉を耳にしたことはありますか？相手の言葉に耳を傾けゆっくり話を聴き、想いを受け止める活動です。

ボランティアセンターでは、センター登録グループの「吹田傾聴ほほえみ」と市内の高齢者施設を会場にお借りして、傾聴ボランティア養成講座を年2回開催しています。誰かに話を聴いてもらって気持ちが落ち着いたり、心が軽くなったりした経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

大規模災害時は多くのボランティアが「自分にできることを」と活動していますが、この傾聴ボランティアは、求められる活動のひとつです。

現在、特別養護老人ホーム「あすーる吹田」で講座を開催中です。次回の講座についてのお問合せは、ボランティアセンターまで。

## 残念!! ボランティアフェスティバル中止(5/29)

5月に台風なんて…思いもよらない現実です。前日全身濡れ鼠になりながら、会場設営・全ての準備を進めていく中、徐々に風雨が強くなり、健康面も含め危険と判断し、断腸の思いで中止に至りました。

6ヶ月にわたり実行委員会を開催し、参加団体も53と多く企画内容も充実。特に今回は自分たちに来る復興支援に取り組み、義援金の受付・チャリティバザー、また吹田に避難されている被災者の方々にお越し頂けるよう歓迎ブースを設け、いろいろな面でのニーズ発掘に繋がればと願って…。

ボランティアフェスティバル開催に向けてのご支援、ご協力頂きました皆様、心より御礼と共に、お詫び申し上げます。次回もボランティア活動の輪がより一層広がる事を願って、皆で知恵と力を出し合って開催します。(実行委員長 北嶋玉枝)

# 東日本大震災 チャリティバザーに 参加

平成23年4月2日(土)に、江坂公園にてチャリティバザーが開催されました。

東日本で復興に向けて頑張っている方々に、少しでも吹田から元気を届けたいと、いくつかの団体で実行委員会を立ち上げ、ボランティア連絡会も参加しました。

当日の収益金1,184,968円は、義援金として全額を日本赤十字社と社会福祉協議会を通して中央共同募金会に寄付しました。バザー物品のご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。



多くの市民の皆様のバザー商品提供などのご協力で、100万円を超える義援金が集まりました。



司会の梅田淳さんと、元阪神タイガース2軍監督の平田勝男氏との楽しいチャリティオークション。

## お知らせ

### ◆夏のボランティア体験プログラム

7~8月の期間、吹田市内の39の児童・高齢者・障がい者の福祉施設・団体で、ボランティア活動(活動内容は46プログラム)を体験してみませんか。

初めて活動する方も、現在活動中の方も、今年の夏はたくさんの人との出会いや、新しい世界の扉を開けるチャンスです。

【お問い合わせ・詳細・申し込み】

吹田市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
(☎06-6339-1254)

## 新加入グループ紹介 歌体操介護予防市民塾

代表 加藤昌子

活動を始めて3年目になります。ヨチヨチ歩きですが、皆様の仲間入りさせていただきます。よろしくお願ひします。歌体操を広くひろめ、同好者を募り、健康のために懐かしい歌を歌いながら体操します。ご参加ください。

◎定例会  
第1火曜日  
第3火曜日  
午前10時  
市民会館にて

## エコおもちゃ作り市民塾

代表 小川忠夫

子どもたちに小刀や道具の使い方をお教え、楽しいおもちゃ作りに挑戦します。自然の木や竹を材料にした創作おもちゃです。自分の好きなものを作ります。大人の方も楽しいですよ。

◎定例会  
第3火曜日  
午後1時半

## みんなの健康展に 参加します

今年も9月10日(土)・11日(日)にメイシアターにて「第28回みんなの健康展」が開催されます。

ボランティア連絡会では、点字体験やステージ発表、手作り体験、パネル展示で日頃の活動を発表します。

活動を続けるためには日頃の健康管理が不可欠。日頃おろそかになりがちな自分の健康について考える2日間。あなたも足を運んでみませんか。



今年の体験はエコおもちゃ



## 新編集委員紹介

身近な情報をコンパクトにお届けできるよう、がんばります。(小川忠夫)

## 編集後記

3月11日、想像を絶する宮城県三陸沖地震は、大津波が牙をむいて襲い掛かり市街地をも壊滅させ、多くの人命と人々の日々の生活を一瞬にして奪い去ってしまった。

東京電力福島第1原発から放射性物質の流出、30km圏内に住む住民の方々は地震・津波・原発と三重の苦しみをしいられ非難生活が続いている。遅滞として進まない国の被災地への復興支援・原発流出の安定化等々には、苛立ちが募るばかりです。(時松幸恵)

## コミュニティー・サロン

清拭布作りや切手・カード整理などをしてあります。

日時/毎月第2・4火曜日  
午後1時~3時

場所/線福2階ボランティア室

